

概要版

長野市の学校における働き方改革推進のための基本方針

令和7年4月改定 令和9年3月改定予定

長野市教育委員会事務局
学校教育課

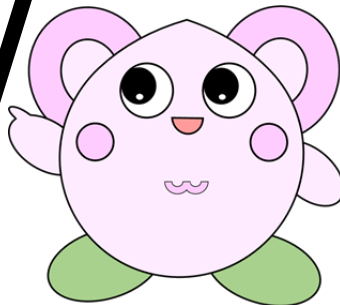
【長野市の学校における働き方改革推進のための基本方針】

長野市教育の基本理念「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」を踏まえ、教職員が子どもと向き合う時間の確保を図った上で、すべての市立小・中学校、すべての教室で、質の高い授業を実現するために、教職員のワーク・エンゲージメントを高め、学校と教職員が担うべき業務を明確にし、更なる分業化、協業化、効率化を進めます。

学校教育の質の向上を通じた、
全ての子どもたちへの
より良い教育の実現を目指して

【実現したいこと】 教職員の ウェルビーイング

長野市の教職員一人一人が
心身の健康を保ちながら、
活き活きとやりがいを感じて
豊かな教職生活を送る



量的な
改善

教職員が働きやすい環境づくり

質的な
改善

教職員が心身の健康を保ち、
働きがいを感じる環境づくり

視点

業務の削減や
分業化、協業化

業務の効率化、
合理化

勤務時間を
意識した働き方

心身の健康の
確保

働きがいを感じる
環境づくり

成果指標

【時間外勤務時間】

- ① 1か月間一人当たりの時間外勤務時間の平均が45時間以下
- ② 1か月間一人当たりの時間外勤務時間の平均が80時間以上の教職員の割合がゼロ

【ストレスチェック】

- ① 受検率90%以上 (R6 受検率 78.6%)
- 【教職員働きがいアンケート(仮称)】
- ② 各項目で肯定的評価が80%以上

例

学校・地域の取組

【業務の削減】
□会議の精選
□短時間ミーティングの設定により、学年会の回数を削減
□Formsによる欠席連絡受付
□校内チャリコーナー設置や配布するチラシの精選による配付業務の削減
□PTA活動のスリム化

【業務の分業化】
□円滑な学校運営のための校務分掌の実施と適宜見直し
□各学年業務の分散化
□教員業務支援員の活用
□地域住民の皆さんによる登下校時の見守り活動

【業務の協業化】
□授業で扱う教材・指導内容等の共有
□学年担任制の実施
□PTA作業の活用
□地域住民の皆さんによる学習支援、行事の準備補助
□地域住民の皆さんによる学校評議員会への参加
□学習チューターの活用
□休憩時間を「昼と放課後」と「昼のみ」の交代制で取得

【業務の効率化】
□会議資料や連絡通知のデジタル化
□各種通信やアンケート等のデジタル配信
□職員間の連絡での Teams の活用(グループ掲示板での投稿、返信等)
□職員室から遠い教室へのプリンター等の機器設置
□児童生徒用学習用動画の Teams への添付
□共同編集ファイルへの授業のふり返し等の記入による一斉把握

【業務の合理化】
□教科担任制の実施
□通知表2学期制の実施
□学校行事のスリム化

【日課変更】
□清掃や部活がない日をつくり、5時間授業の日を設定
□下校時刻の見直し
□学校事務の日の設定(学期末、長期休業前後等)
□定期テストを2日間で実施し、テスト処理の時間を確保
□5時間日課で勤務時間内に部活動も終える(部活動の地域移行完了まで)
→部活動のシーズン制導入

【勤務時間の把握】
□校支援出退勤システムへの休日出勤・持ち帰り仕事を含めた勤務時間の正確な入力・管理

【勤務の割振り】
□活用促進への意識付け(一覧表を職員室に掲示する等)

【教職員定時退勤の設定と実施】
□学校全体や学年、個人ごとの定時退勤日の設定
□学年ごとの実施状況の把握

【メンタルヘルス対策】
□教職員の相談窓口の設置
□教職員のスクールカウンセラーへの相談

【休暇の取得】
□各種休暇制度の利用と活用の促進

【働き方改革担当部署の取組】
□校内安全衛生委員会を定期的に開催し、取組の見直しと職員の健康状態の把握
□勤務時間が増加している職員への積極的な声かけ
□ストレスチェック実施の呼びかけ

【校内体制の工夫】
□職員懇談スペースや休憩スペースの設置
□教職員研修を兼ねた「職員スポーツレク」、「雑談タイム」(カフェスタイルでのミーティング)等の実施・チームで行う児童生徒理解
□校内 OJT 体制の強化

【教師の資質能力の向上】
□教材研究や教師自身が探究する時間の確保

【裁量度の向上】
□職員全員で関わり、各校のグランドデザインや業務改善計画等を作成
□それぞれの役割、やるべきことの明確化

【パートナーシップの育成】
□教職員の取組を互いに認め合う雰囲気づくりとそのための機会の確保

自校の取組を記入する欄

長野市教委の
取組・支援

【業務の削減】
・Web 会議システムの活用により出張件数の削減
・校支援や Forms を利用した各種調査の効率化および調査内容の精選と簡素化
・チラシのデジタル配信
・会計業務の改善

【業務の分業化】
・部活動指導員、特別支援教育支援員、医療ケア看護職員の配置
・いじめ問題等調査員、さつと学援隊の派遣

【業務の協業化】
・コミュニティスクールの推進
・メディアコーディネータの設置等、各校の ICT を支援

【業務の効率化】
・統合型校務支援システム(校支援)のシステム改善
・採点支援システム等、各種システム導入について検討

【業務の合理化】
・ポータルサイトへの情報掲載
・校支援ライブラリでのマニュアルやリーフレット等の共有
・校支援の活用による効率化と合理化の継続
・標準授業時間数についての研究

【勤務時間の把握】
・時間外勤務時間を把握し、長野市立全小中学校の平均を HP で公表

【学校閉庁期間の設定】
・学校閉庁期間を夏季と冬季に合わせて14~18日間設定

【部活動】
・「長野県中学生期のスポーツ、文化芸術活動指針」の基準に沿った運営
・部活動の地域移行を丁寧かつ着実に推進(学校訪問支援等)

【学校支援体制の構築】
・スクールロイヤー等教育行政に係る法務相談体制の整備・充実
・業務改善や職場環境の整備等に係る財源も含めた予算確保の努力

【学校支援】
・各校における働き方改革についての研修等への参加
・主幹指導主事学校訪問時の取組状況の確認および指導・助言
・Forms 等による各校の取組や課題の把握と、その結果の共有
・時差勤務導入についての研究

【取組の見直し】
・外部有識者、関係団体等代表、学校教職員等が参加する働き方改革推進に向けた懇談会の実施

ここに記載した学校・地域の取組は、「例」であり、すべて実施するものではありません。各学校は校内安全衛生委員会や職員会等で、この取組例や各校の実情に応じた取組を検討・実施していきます。
※実施する取り組みは、チェックボックス(□)にチェック(☑)して利用できます。
※空欄に自校の取組を記入することができます。

市教育委員会・学校・地域が
一体的に取り組むことで、
学校における働き方改革を一層推進します!



【実現したいこと】 教職員の ワーク・ライフ・バランス

教職員個人・
各校の実情にあった
働き方を実現

